

第 125 回トーマス・マン研究会のご案内

日 時 2023 年 10 月 21 日 (土) 14 : 30 ~

第 1 会場 九州大学伊都キャンパス、文学部独文学研究室
(E-B-633、イースト 1 号館 6 階、092-802-5099) [定員 15 名]

第 2 会場 オンライン会場 (後日、開催 URL を送信) [定員 25 名]

プログラム

14 : 30 ~ 16 : 00

研究発表 1 : 福元圭太 (九州大学)

リヒャルト・ゼーモンの「ムネーメ」理論 — 「記憶」を巡るディスクルス—
(仮題)

16 : 15 ~ 17 : 45

研究発表 2 : 小野二葉 (筑波大学非常勤講師)

「まんなかの国」ドイツ — トーマス・マンとアジア

参加方法 参加希望者は、九大独文ホームページの「お問い合わせ」欄を通じて、

(1) お名前、(2) 所属、(3) 希望会場を 10 月 17 日までにご連絡ください。

→ <http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~german/>



(小黒撮影)

その他：

(1) 本会について

本会は、平成元年（1989年）に数名の若手マン研究者が、池田紘一先生（九州大学名誉教授）のもとに参集、その後、年に3～4回のペースで、マンを中心に近現代ドイツ文学に関する研究活動を行っています。

(2) 発表募集

研究発表の募集は、会員以外の発表を含め、随時行っています。発表希望者は事務局にご相談ください。

(3) 旅費補助

本会は、研究会会員の中で、遠隔地から参加する常勤職のない若手研究者に対して、旅費補助を行っています。併せて事務局にご相談ください。

(4) 近年の研究会

- ・第115回研究会（2018年3月、龍谷大学）：Thomas Pekar、Yasumasa Oguro、
Atsushi Imai、Hans Wißkirchen
- ・第116回研究会（2018年7月、九大独文）：鈴木啓峻、今井宏昌
- ・第117回研究会（2018年12月、西南学院）：糸瀬 龍、中島邦雄
- ・第118回研究会（2019年3月、福岡大学）：別府陽子、坂本彩希絵
- ・第119回研究会（2019年7月、九大独文）：長光 卓、小黒康正
- ・第120回研究会（2019年10月、西南学院）：林 弘晃、小黒康正
- ・第121回研究会（2019年12月、福岡大学）：糸瀬 龍、速水淑子
- ・第122回研究会（2022年10月、九大独文）：長光 卓、清家美来
- ・第123回研究会（2023年2月、福岡大学）：長光 卓、別府陽子、渡邊能寛
- ・第124回研究会（2023年6月、九大独文）：小黒康正、長谷川晴生
- ・第125回研究会（2023年10月、九大独文）：福元圭太、小野二葉

5) 今後の企画

- ・第126回研究会（2024年2月、福岡大学）：(募集中)、(募集中)
- ・第127回研究会（2024年6月、九大言文）：(募集中)、(募集中)
- ・『魔の山』シンポジウム（2024年10月、日本独文学会？）：若干名

6) 事務局

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学文学部独文学研究室

トーマス・マン研究会事務局

小黒康正 (E-mail: [oguro\[at-mark\]lit.kyushu-u.ac.jp](mailto:oguro[at-mark]lit.kyushu-u.ac.jp))

.....